

平成30年度 横川中央小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

- ・ 「人権尊重の教育」を基盤とし，学びに向かう力や豊かな人間性の涵養を図る教育活動の実践を通して，主体的・創造的に生きる，人間性豊かなたくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童像など）

- ・ 思いやりのある子ども（思いやり星）
- ・ よく考え進んで学ぶ子ども（学び星）
- ・ 健康でねばり強い子ども（健康星）
- ・ 働く喜びを知る子ども（働き星）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「思いやり・ねばり強さ・働く喜び・共に学ぶ 楽しい学校」

グローバル社会の進展，情報社会・科学技術の進展，少子高齢化の進行，環境問題・防災への関心の高まり，児童虐待の増加や子どもの貧困といった変化の激しい社会を生きるためには，「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力等」，「主体的に取り組む態度」の資質・能力の育成求められる。これらの実現のため，学校は組織として，学校教育の改善・充実に向けたカリキュラムマネジメントや，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む必要がある。また，現代的な諸課題に対応するための資質・能力や，知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を身に付けるためには，生きて働く知識・技能を習得する学習活動・探究活動の充実と，学びに向かう力と豊かな人間性の涵養等を図る教育活動を展開する必要がある。

これらの教育活動の実現のためには，教育目標に掲げる本校の伝統と校風を引き継ぎつつ，全ての教職員が組織として行動し，個々の能力を最大限に発揮するとともに，キャリアステージに応じた資質を獲得することが不可欠である。このため，教師の授業力を磨き，学級力を高める指導の在り方テーマに共同研究に取り組んでいく。また，これら「信頼される教職員を育て，学校の組織力を高める」ための取組は，保護者・地域と連携・協働した学校づくりの実現に向けた施策・事業の展開が不可欠である。学校の教育活動と保護者・地域の教育力を生かした教育システムの協働事業のため，「魅力ある学校づくり地域協議会」を核として共に学ぶ楽しい学校を目指し，「地域とともにある学校づくり」を推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営の適正化

創立 145 年目を迎える本校の歴史と伝統を継承し，児童・地域の実情を踏まえ，学習指導要領に基づき，学校や児童の実態に即した創意ある教育課程を編成する。児童を主体とする活動の充実を図ると共に，地域の教育力の導入を推進し，活気あふれる学校づくりに努める。

(2) 教職員の資質の向上

教育公務員として法令を遵守するとともに，人づくりの使命感に立ち，学校や保護者・地域の実態を踏まえた実践的な研修に励み，自身の資質向上を図り，和と協働を基盤に，教職員一人一人の特性やよさを生かし，児童・保護者と共に学校づくりに努める。

(3) 学年・学級経営の充実

児童一人一人の興味・関心・意欲や個性等に配慮し，主体的・対話的で深い学びに向けた学級集団づくりと，活力に満ちた教育活動の展開のための学級力向上に努める。

(4) 学習指導の充実

児童主体の分かる授業，楽しい授業の展開に向けた授業力の向上に取り組み，基礎・基本の確実な定着を図り，思考力・判断力・実践力等を重視した体験的・問題解決的な学習を推進すると共に，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた研究を推進する。

(5) 豊かな心の育成

「特別の教科 道徳」を核とした指導と共に，様々な体験活動を通して，生命尊重・思いやり・感謝・勤労・奉仕等の豊かな心の醸成等を重視した教育を推進し，心豊かでたくましく生きる児童の育成に努め

る。

(6) 児童指導の充実

全教職員の認識を共有し、児童・保護者・教職員間の信頼関係を深め、共感的理解に基づいた人間関係を確立し、日常のふれあいを通して、基本的な生活習慣や集団行動の徹底を図るとともに、社会性の育成に努める。

(7) 体力の向上と保健安全教育の充実

本校の課題である児童の体力向上を目指し、自ら進んで運動に親しみ、健やかな体を育む保健体育指導の充実を図ると共に、健康・保健・安全指導の推進に努める。

○ (8) 地域学校園・小中一貫教育の推進及び特色ある学校づくり

地域の教育力を生かし、家庭・地域・関係諸機関との連携・協働を図りながら、充実した地域学校園・小中一貫教育の実践に努める。また、児童が主体となった勤労生産活動や奉仕的活動を積極的に取り入れた、特色ある学校づくりに努める。

(9) 地域に開かれた学校づくり

地域の教育力の活用及び発掘を推進すると共に、年間を通してのフリー参観や土曜授業等の実践により、学校と保護者地域等の信頼関係を深め、地域に開かれた学校づくりに努める。また、地域協議会・地域諸団体と連携・協働し、地域に根ざした学校づくりを目指す。

[横川地域学校園教育ビジョン]

「豊かな心の育成を目指す 横川地域学校園の小中一貫教育」

～自分、人、地域を大切にすることの育成を目指して～

4 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

(1) 教職員が児童と向き合える時間の確保に向け、業務の効率化に努めると共に、出退勤時刻の管理に係る取組により、労働時間の適正化を推進する。

(2) 共同的な学びの実現に向けて、教職員自らが学び合い、授業力や学級経営力等の資質の向上に向けた取組の推進に努める。

○ (3) 主体性と独自性を生かした学校経営を推進すると共に、地域学校園に係る事業の効果的で円滑な運営に努める。(乗入授業、研究授業、相互授業観察等の交流、外国語教育に係る授業力向上を図る取組の充実、等)

【 学 習 指 導 】

・主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、以下のテーマで研究に取り組む。

「教師の授業力を磨き、学級力を高める指導の在り方に係る共同研究の推進」

～信頼される学校づくりに向けた取組～

【児童生徒指導】

・道徳的な判断力、実践力を育むとともに、体験活動や読書活動の充実により豊かな感性を育む。

・いじめ防止基本法に基づき、「特別の教科 道徳」や児童会が主体となった集会活動など様々な教育活動の場の設定により、児童の規範意識や正義感、思いやりの心の育成に努める。

【健康（保健安全・食育）・体力】

・教科指導の充実や学校行事、児童会活動等の機会を通して、運動に親しもうとする態度・能力や、健康を大切に管理する態度の育成を図る。

・給食指導を中心に、より良い食習慣について児童自らが考え実践できるよう指導の充実を図ると共に、家庭・地域と連携して、生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るための資質・能力を図る。

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校評価、行事アンケート等を検証し、児童や保護者の思いを生かした学校行事、児童会活動、学年活動等を設定し実施する。</p> <p>② 児童一人一人のよさを伸ばす指導に努め、特色ある学校づくりや特別活動、道徳教育を推進し、望ましい人間関係の醸成に努める。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・児童一人一人の良さを伸ばし、学校が楽しいと思える教育活動が実施できた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省を生かして、学校行事や児童会活動、学年活動などの改善に取り組むとともに、特色ある学校づくり等を積極的に推進していく。
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 授業のねらいを明確にし、児童が意欲を持って学習に取り組めるよう指導法を工夫する。</p> <p>② 行動基準表に基づき、児童一人一人を大切にしながら誠実で熱心な教育を、具体目標を設定・検証しながら実践する。</p>	B	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 98.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・学力向上専門員や市教委指導主事を要請した指導や職員研修、一人一授業の実践・考察をし、一人一人の授業力を高めることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の実践を踏まえて、組織として「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学びについての研修をさらに充実していく。また教職員一人一人が明確な課題をもち、誠実で熱心な教育活動にあたる。
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 生活目標（短期的な具体目標）を設定し、基本的な行動様式（あいさつ、言葉づかい、時間や規則を守る、廊下の歩行、集合時の態度や話の聞き方等）の指導を徹底し、習慣化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「廊下を歩こう」の標識を増やして、児童に廊下歩行を促す。 <p>② <u>横川地域学校園で推進するあいさつ・時間・ことばづかいの指導の徹底を図る。</u>児童会の活動を中心にして、継続する。</p>	A	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 83.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値に達することができなかった。 ・廊下歩行、あいさつ、言葉づかいについて生活目標を設定し、日常的に指導してきたが、基本的な行動についての習慣化がまだ十分ではない。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ…小中あいさつ運動、横川地域学校園あいさつ運動、児童会主催のあいさつ運動を利用して、あいさつの指導の徹底を図るとともに、よくできている児童を学級や学年集会等で称賛し、習慣化を図る。 ・言葉づかい…できていない児童にその都度指導し、徹底を図る。 ・廊下歩行…生活当番の見回りを強化し、児童に廊下の歩行を促す。

<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 授業のねらいを明確にし、少人数指導やT.T、課題別学習など指導法の工夫を図り、個を生かした多様な学習を展開する。</p> <p>② ICTを積極的に活用したり教材や提示資料を工夫したりして学習意欲を高める工夫をする。</p> <p>③ 朝の学習の時間を活用して基礎・基本の定着化を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 95.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・授業の中で「ねらい」「まとめ」「ふりかえり」の一連の流れが定着してきている。 ・デジタル教科書や実物投影機、タブレットの活用が定着してきているので、児童の意欲や理解が高まってきている。 ・朝の学習時の漢字や計算を中心とした学習により、基礎・基本の学力が身につけてきている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝の学習の時間を活用して、基礎・基本の定着化を図る。 ・個に応じた言葉かけや課題の提示の仕方を工夫する。
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 「いじめをしない、させない、許さない」心を培えるよう、あらゆる時間や場において、人権意識を高める指導の充実を図る。</p> <p>② 「いじめ調査」や「教育相談」を定期的に行い、早期発見、早期対応に心がける。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 98.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・「いじめアンケート」や「教育相談」定期的に行い、児童の実態を把握し、早期発見、早期対応に心がけてきた結果、いじめをしない、させない、許さない心が育っている。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「いじめアンケート」や「教育相談」を定期的に行い、早期発見、早期対応を心掛ける。 ・いじめを発見したら、必要に応じていじめ対策委員会を開き、情報の交換や協議を行い、児童が安心して学校生活を送れるようにする。
<p>A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童の実態に即した創意ある教育課程を編成し、地域教育力を生かした教育活動の実践をする。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定回答率 92.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科横断的な視点から教育課程を見直していく。 ・地域・保護者ととともに開かれた学校を目指し、連携を深めていく。(再来年度を見通して実施)
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校だよりや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 授業参観のほか、年間を通して、学校を自由に参観できるようにし、学校生活の様子について理解を深める機会を設ける。</p> <p>② 学校だより、学年・学級だより、保健だより等各種だよりを定期的に発行し、学校の取組を積極的に保護者や地域の方々に知らせる。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定回答率 96.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様に、学校での取組を積極的に情報発信していく。 ・HPの充実を図り、地域や保護者はもとより、社会に向け教育活動を広報していく。

<p>A8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 街の先生や読書、安全ボランティア等の地域教育力や企業の出前講座等を積極的に生かした体験型学習の充実に努める。</p> <p>② 横川地域学校園で地域人材等の共有化を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定回答率 93.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・家庭・地域・企業等と連携・協力を図り、児童にとってよりよい教育活動を実施できた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、地域ボランティアや企業の出前講座を活用する際、継続性や系統性のある教育活動ができるよう調整していく。
<p>A9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」 ⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 校内緑化の推進を図ったり、縦割り班による清掃指導の充実を図ったりして、清潔で心休まる学習環境を整える。</p> <p>② 毎日荷物の整理や片づけをするなど教室の美化に努め、定期的に教材・備品等の整理整頓をする。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答 93.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・学校全体の備品整理を行ったことで、教材教具が有効活用されてきている。 ・清掃活動では、児童は時間いっぱい活動している。 ・潤いのある環境づくりのために、計画的に花壇の整備を行った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品整理や資料室の整理整頓を行い、全職員が資料・教材の把握をし、活用していく。 ・清掃開始時刻を守り、時間いっぱい清掃できるようにしていく。
<p>A10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答90%以上</p>	<p>① <u>乗り入れ授業、研究授業等の積極的な交流等を実施する。取組を積極的に保護者や地域の方々に知らせる。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校での相互の授業参観や研修授業等の積極的な交流を実施する。また、地域学校園で取り組んでいる「あいさつ運動」を各学年だよりで保護者や地域へ発信していく。 	<p>【達成状況】 保護者の肯定回答率 87.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り入れ授業の情報を学年だよりで提供することにより保護者が参観する姿も見られる等保護者の認識は高まってきたが、目標値をやや下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中で一貫した取組や交流を強化するとともに、乗り入れ授業の参観の連絡をするなど、積極的に情報を発信していく。 ・「あいさつ運動」は継続し、児童の豊かな心の育成を図っていく。
<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。豊かな教育活動が展開されている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 学校内の多様な人材が能力を発揮し、それぞれの専門性を生かして授業を展開する。また、専門性を生かした教育活動を充実させ「チームとしての学校」を推進する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定回答率 83.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回った。 ・学校スタッフの活用は進んでいるが、事前の打ち合わせ等の必要性があり、「教員の業務の軽減」には至っていない。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度はさらに、学校全体として、チーム体制で業務を行っていく。どのような場で専門性を生かしながら、教育活動に生かせるか効率的な活用を模索していく。

	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 教員と専門性を有するスタッフとの間で、それぞれの役割を明確にしつつ、連携・分担を適切に行い、学校の教育力が最大化となるようなコミュニケーションを図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定回答率 93.3% ・目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・多様な専門性を有する学校スタッフと、児童の教育活動が充実するために、事前の打ち合わせや事後の振り返りを行い、適切に実施していく。</p>
	<p>B1 全教職員の協働体制を確立し、児童主体の教育活動の推進に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「教職員は連携して指導にあたっている。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 校務分掌や学年の仕事分担の明確化と合理化を推進するとともに、「横小の児童は、全教職員みんなで育てる」という意識をもって同一歩調で指導に当たる。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定回答率 89.9% ・必要に応じて児童の指導にチームとして当たるようにしていき、昨年度を上回り目標値とほぼ同値だった。</p> <p>【次年度の方針】 ・校務運営規定の見直しを図り、校務分掌や学年の仕事の明確化と合理化を進めていく。 ・担任以外の児童にも声掛けができるよう、打合せ等での児童理解に努め、全教職員で見守っていく。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A13 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 児童会主体のあいさつ運動、教職員によるあいさつ運動、地域協力者によるあいさつ運動により、あいさつの日常化の徹底を図る。</p> <p>② <u>横川地域学校園による「あいさつ運動」を実施する。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 94.6% ・目標値を上回った。 ・児童会主体のあいさつ運動や横川地域学校園あいさつ運動への取組が効果的であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・年間を通した学校ごとのあいさつ運動を継続するとともに、横川地域学校園による小中合同あいさつ運動が効果的であったため、継続して行い、家庭や地域団体と連携していく。 ・あいさつの意味について、学級活動、道徳等を中心に、日常的に指導を重ねる。</p>
	<p>A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は時と場に応じた言葉づかいをしている」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 対人関係や時と場において、具体的な指導をするとともに、国語・会話科・道徳・学級活動等を中心に教育活動全体で言葉づかいの指導の徹底を図る。</p> <p>② <u>横川地域学校園の児童指導部会で「正しい言葉づかい」場に応じた言葉づかいについて共通理解を図り、全校体制で取組を推進する。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 87.4% ・目標値をやや下回った。 ・友達や目上の人に対して、時と場に応じた言葉づかいが十分でない児童がいる。 ・保護者や地域の方々に対する正しい言葉づかいが十分に身に付いていない。</p> <p>【次年度の方針】 ・言葉づかいについては、その都度個別に指導を重ねていく。 ・国語、道徳、学級活動を中心として、教育活動全体で正しい言葉づかいの指導をする。 ・地域学校園の児童指導部会で、正しい言葉づかい、場に応じた言葉づかいについて共通理解を図り、取組を推進する。</p>

	<p>B2 学校の決まりやマナーを守り、相手の気持ちを考えて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は思いやりの心を持って友達と仲良く過ごしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 縦割り班活動・奉仕活動を中心とした体験活動の充実により思いやりの心を育成する。</p> <p>② 人権教育を推進し、教育活動全体を通して、違いを認め他を尊重する態度を育てる。(思ちゃんコーナーの継続)</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 97.5%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・思ちゃんコーナーの人権的活動が効果的であった。 ・縦割り班活動で遊んだり、掃除をしたりすることで6年生のリーダー性が育った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思ちゃんキャラクターを活用して人権教育活動を継続して行う。 ・人権教育、道徳教育を核として心の教育を推進し、相手の気持ちを考える態度や思いやりの心を育てる。
	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 自己の体力にあつためあてをもって取り組む各種検定・業間運動の実施や、教科体育における補助運動の継続、ロング昼休みを利用し各学級で積極的に体を動かす活動等を通して、運動に親しむ態度を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びの奨励 ・「朝の1分間グーパー体操」など、握力を高める運動を行う。 <p>② <u>横川地域学校園で各種検定表の一貫性を図る。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 91.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・各種検定や大会では、各自の目標をもって自主的に練習に取り組む児童が多い。休み時間や放課後等に積極的に運動に親しむ児童が増えてきている。 ・元気っ子チャレンジに取り組み、多くの児童が参加できた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びの励行を図るため、休み時間等に声掛けをするとともに、遊びの機会を創出する。 ・教科体育の準備運動後に、馬跳びや壁倒立、手押し車じゃんけんを取り入れることで、筋力強化を図る。
健康・体力	<p>A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① セレクト・バイキング・郷土料理等、創意ある給食活動や異学年・親子・地域の方々とのふれあい給食の実施を通して、栄養指導をするとともに望ましい食習慣の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月頃から、給食や栄養のバランスについての指導を行う。 <p>② 給食時や教科等で偏食改善の指導を行うとともに、「給食だより」等を通して、家庭との連携を図る。給食委員会でも、工夫して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嫌いなものも一口味見」の合言葉で、栄養のバランスを考えて食事をする事が出来るようにする。 ・残菜などの実態を伝えることも含めた「給食だより」の発行を継続し、家庭との連携を図る。 <p>③ <u>横川地域学校園で地産地消を通じた共通の栄養指導を展開する。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して、地産地消を積極的に取り入れる。 	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 93.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・「きらいな物でも一口味見」という合言葉のもと、6月に給食月間を設け、給食のマナーアップを図った結果、10ポイント上昇した。 ・嫌いな物でも一口は食べようとする意識は高まっているが、個人差が大きい。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「嫌いな物でも一口味見」の合言葉を、全担任が意識的に指導し、児童に浸透させることで、栄養バランスを考えた食事ができるようにしていく。 ・6月の給食月間は、次年度も継続して実施する。 ・地産地消を引き続き積極的に取り入れる。 ・食への関心が深まるように給食時の指導を工夫して行い、給食の様子が伝わるような給食便りの発行を継続し、家庭との連携を図る。

	<p>B3 病気やけがの少ない安全な学校生活を送れるよう、気をつけて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は病気やけがをしないように気をつけて学校生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 休み時間の過ごし方・廊下の歩行や、給食時や運動・トイレの後の手洗い・うがいの励行など保健安全指導に努める。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答 94.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・保健室利用は擦り傷が大半であるが、打撲、骨折、捻挫等医療機関につながる怪我もあるため、安全指導も行った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下の安全な歩行については、児童会の「廊下走るの禁止スターズ」の取組を継続していく。 ・生活目標でも呼びかけ、年間を通して繰り返し指導していく。
学	<p>A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 話の聞き方、発表の仕方、ノートのとり方など基本的な学習態度・技能を身に付ける指導の充実を図るとともに、意見発表がしやすい雰囲気づくりにも努める。</p> <p>② <u>横川地域学校園で共同作成した授業中の約束の定着を図る。</u></p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 92.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・学習の基本的な準備はできてきた。 ・授業の前に着席し、チャイムを守る行動はできてきている。 ・話の聞き方や発表の仕方は各クラスで掲示し、活用している。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の聞き方や発表の仕方の指導は、引き続き行っていく。 ・地域学校園の授業中の約束を各教室に掲示し、児童の意識を高める。
習 等	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 先生の話や友達の意見は、「目と耳で聞く」など具体的な方法を示し、学年に応じた指導をするとともに、落ち着いた学習環境づくりにも努める。取組を強化するため、強化週間を設けて学校全体で学習習慣の確立を目指す。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 87.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値をやや下回った。 ・強化週間を設けられなかったが、先生方の指導によりどのクラスも落ち着いて学習に取り組めるようになってきている。 ・各担任が学年に応じて、具体的に指導してきた成果が見られたが、学校全体としては、不十分な点も見られた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「聞き方あいうえお」の指導を引き続き行う。 ・学習習慣の確立を目指すため、ユニバーサルデザインで基本的な学習環境を整える。(前黒板の掲示物の統一、授業におけるめあてや振り返りなどの焦点化を図った授業展開、視聴覚教材の有効活用、話し合いやグループ活動による意見共有化を図る授業の工夫等)

	<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。」 ⇒地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 地域の行事や活動について、学校からも積極的に情報を発信し、啓発する。</p> <p>② 地域と協力して、ボランティア活動や地域の行事に参加する。</p>	<p>【達成状況】 地域住民の肯定回答率 83.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を下回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会室の掲示板や広報紙等で、地域の行事や活動について啓発していくとともに、クラスにおいても、児童に声掛けをする。また地域の行事やボランティアに参加した際には、それを称賛する機会を設け、啓発していく。 ・近年の家庭状況から、地域の行事に積極的に参加するには課題があるため設定値を低くしてはどうか。
	<p>B4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「私は、漢字や計算に一生懸命取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 授業や家庭学習などで、漢字ドリルや計算ドリルなどの活用を図り、基礎・基本の定着に努める。特に、朝の学習を実施し、漢字習得・計算力の向上を図る</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.6%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・朝の学習に、学年統一の課題を継続的に実施したことにより、漢字習得・計算力の向上が図れた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、朝の学習を実施し、漢字習得・計算力の向上を図る。 ・児童の家庭学習の様子を把握し、個に応じた指導に生かす。(音読カードの利用、自主学習ノートの活用)
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B5 勤労生産的な活動を計画的に実施し、働く喜びを知る児童の育成に努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は、清掃活動や栽培活動に一生懸命取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① グリーンカーテンや花壇、教材園など全校あげての栽培活動や、縦割り清掃、クリーン活動等を計画的・継続的に実施する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 95.1%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・年間を通して、計画的に栽培活動やクリーン活動に取り組んできた。また、日々の清掃活動を通して、児童の達成感や勤労の喜びが高まった。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の花壇や教材園での栽培活動では、児童の豊かな心を育むとともに、地域に根ざした活動では、米作りやコスモスロードの整備に児童が主体的に取り組めるよう、さらに推進していく。 ・清掃時間いっぱい取り組めるよう、継続的に指導する。

<p>B6 資料を効果的に活用して道徳の授業を行い、心の教育を推進している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学習支援ボランティアの方々が作ってくれた資料をもとに楽しく道徳の授業に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p>	<p>① 課題提示を工夫したり、体験的な活動を活用したりして、道徳指導の充実を図る。</p> <p>② 地域活動を活性化し、<u>横川地域学校園で推進する心の教育の充実を図る。</u>道徳の授業公開を継続する。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 93.2%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 ・効果的な資料の提示の仕方を工夫したり、体験的な活動を取り入れたりして、授業の改善を図った。 ・一人一人の評価を積み重ねることができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業がスムーズに進められるように、資料の準備や教材研究を計画的に進める。 ・学習の蓄積が目に見えるように、道徳ファイルを用いて児童の心の育成を図り、教育滑動全体を通じて、道徳性を養う。
<p>B7 読書活動により、豊かな心身の育成を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は進んでいるいろいろな本を読み、調べ学習にも役立っている。」 ⇒児童の肯定的回答90%以上</p> <p>【数値指標】 〈チャレンジブック指標〉一人当たり年間15冊以上 ⇒一人当たり年間60冊</p>	<p>① ボランティアによる読み聞かせやチャレンジブックを活用した読書活動の充実を図り、豊かな心の醸成を図る。</p> <p>② 調べ学習においては、知識を広げたり深めたりするために必要な図書を利用できるようにし、活動の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の図書館と連携し、調べ学習などで積極的に活用する。 	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答率 76.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月末現在で、一人当たりの年間読書量は、60.0冊。また、チャレンジブック達成者は、169人で、34%の児童が達成している。 ・アンケートにおける目標値については、達することができなかった。 ・南図書館からの巡回図書や希望図書を学年のフロアに設置することにより、進んで図書を利用することができた。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い知識が身に付けられるように、様々な分野の本の拡充に努める。また、授業で活用する場を多く設定し、調べ学習において学習の幅を広げる。 ・地域の教育力を生かし、読書ボランティアによる読み聞かせを行い、児童の読書活動を推進する。 ・学校の課題図書（チャレンジブック）に、各学級で意欲的に取り組めるよう読書指導をする。 ・読書週間や教師による読み聞かせの実施により、読書の楽しさを味わわせ、読書への関心を持たせるようにする。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> ・全26項目中18項目で目標値（90%）を達成した。 ・重点目標「学校運営」から見ると、A1「明るい雰囲気」A6「教育課程」A7「情報発信」A8「家庭・地域・関係各機関との連携」A12「教職員のコミュニケーション」B1「教職員の連携」については、目標値に達していて、教職員が協力し合って、主体性と独自性を生かした教育課程に基づき学校経営を推進し、情報を発信しながら、家庭・地域・関係各機関と連携しているのが見られる。 ・一方で、<u>A10「小中連携」</u>A11「教員の業務縮減」A19「ボランティア活動」については、目標値をやや下回ってしまった。小中一貫の取組については、昨年度よりは、保護者1.1ポイント伸びている。今後も、取組内容を発信したりしていきたい。<u>地域ボランティア活動については、目標値は下回っているが、市の平均に比べると、保護者・教職員・児童共に5ポイント以上高い。今後は、地域と連携しながら、情報を発信したりするなど、工夫して進めていきたい。</u>

- ・重点目標「学習指導」から見ると、A2「熱心に指導」A4「分かりやすい授業」A17「進んで話し合い積極的な学習」B4「基礎的・基本的な知識・技能の定着」B5「栽培活動」B6「道徳の授業」などは、昨年度よりもやや下回りつつも目標値に達している。教職員が、学力向上について校内研修で学び、教科の指導法や授業力向上に向けた工夫改善を図ってきているが、今後も、主体的・対話的で深い学びの実現に向けてさらに取り組んでいきたい。
- ・一方で、A18「落ち着いた学習」B7「読書活動」については、目標値を下回ってしまった。落ち着いた学習習慣の確立については、学習のきまりについての具体的な方法を提示し、全教職員でユニバーサルデザインの学習環境作りを推進し、今後も、全教育活動を通して、基礎・基本の習得と学び合いによる思考力・判断力・表現力の育成のため、目標を明確にして取り組むとともに振り返りの時間を設定し、分かる授業の展開に努める。「読書活動の充実と豊かな心の醸成」については、読書についての児童の肯定的回答が、昨年度より9.3ポイント下がり、76.7%だった。本に接する環境づくり、読書ボランティアによる読み聞かせの実施、読書週間の持ち方、チャレンジブックの奨励など、読書に関心をもてるよう、さらに工夫して取り組んでいく必要がある。
- ・重点目標「児童指導」から見ると、A5「いじめ対策」A13「あいさつ」B2「思いやりをもって仲良く」については、目標値に達している。特に「いじめ対策」については、昨年度よりも全体で2.4ポイント伸びた。今後も、学校での取組について、情報発信をしながら、保護者と連携していきたい。また、「あいさつ」や「思いやり」については、日常の場面において、今後も繰り返し指導をしていく必要がある。
- ・一方、A3「授業と生活のきまり」の項目では、肯定的回答率が児童83.5%で、昨年度より、6.3ポイント、また、A14「時と場に応じた言葉遣い」については、肯定的回答率が児童87.4%で、昨年度より、0.2%下がっている。今後、授業と生活のきまりの徹底を図るよう、生活目標の設定や指導の工夫について全校体制で取り組んでいく必要がある。言葉遣いについても、その都度指導をしながら、家庭や地域の協力も得ていけるように推進したい。
- ・重点目標「健康（保健安全・食育）・体力」から見ると、A9「清掃・学習環境」A15「積極的な運動」A16「好き嫌いなく給食を食べている」B3「病気やけがをしない」は、児童の肯定的回答は目標値に達している。特に、「好き嫌いなく食べる」は、昨年度から、10.2ポイントも伸び、「嫌いなものも一口味見」を合言葉に、指導を続けてきた成果が、現れている。今後はバランスのとれた食習慣を身に付けさせるため、残さず食べるとことを目標に、学校・家庭が連携し、望ましい食習慣の定着を図っていくようにしていきたい。「積極的な運動」については、元気っ子チャレンジに積極的に取り組んできたが、今後も業間や昼休みに外遊びを楽しめる工夫や指導に努め、運動に親しむ態度を育てていきたい。また、「病気やけがをしない」は、2.1ポイント伸びている。今後も校内外の過ごし方を具体的に指導するなど、保健安全面については、未然防止を合言葉に取り組んでいきたい。

6 学校関係者評価

- ・「積極的な運動」に関して、児童や教職員等は、休み時間に積極的に運動していると回答している割合が高いのに対し、保護者が低い割合となっているのは、子の家庭での状況と捉え、特に高学年では、外遊びより室内遊びを好む普段の様子から、休み時間に外で運動していないと答えているものと思われる。今後も、業間や昼休みに積極的に外遊びを奨励していくと共に、児童の取組の様子を発信していくように努める必要がある。
- ・栽培活動については、1・2年生が生活科で花や野菜の栽培、4年生は総合的な学習として、田川沿いにコスモスを植える活動、5・6年生は、学校行事として校外にある学校農園で米作りを実施している。また、3～6年の理科の教材として、学校農園や花壇での草花の栽培活動を実施しているが、今後も引き続き、地域のボランティアさんの協力を得ながら、栽培活動に取り組んでいくようにする。
- ・チャレンジブックの本の範囲を広げたり、借りたいときに借りられるようにしたりして、児童に達成感を持たせられるとよい。また、図書室の蔵書数を増やしたり、読み聞かせボランティアの人数を増やしたりすることにも取り組んでいくようにする。
- ・学習支援ボランティアについては、定期的な活動の他に、今年度から実施のプチボランティアも継続して取り組み、楽しさや良さを広げていけるとよい。
- ・地域協議会主催のボランティア給食への参加者が少ないので、実施時期や方法を改善し、より多くの方々への感謝の気持ちを表すことができるようにしていけるとよい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

アンケートの各項目において、本校では数値指標を肯定的回答率90%以上としている。児童・保護者・地域・教職員の全体で捉えれば、この指標を達成しつつ、昨年度より伸びた内容については、「いじめ対策への取組」「行き届いた清掃や整理整頓」「好き嫌いをなくす食育指導」「教職員の連携した指導」「病気・けががないような生活」があげられる。全26項目中、それぞれの指標を達成しているのは19項目あり、概ね学校の教育に対し、児童・保護者・地域住民から信頼を得ていると言える。

しかし、以下の点については、さらに改善し指導を工夫していく必要がある。

- ・学習については、授業中に話をよく聞き、落ち着いて学習できるように、年度当初に、学校全体で具体的な「話の聞き方」や、「発表の仕方」の指導を十分に行い、学習習慣を確立できるように指導していく。また、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、朝の学習の時間に、漢字習得・計算力の向上を図る。また、音読カードや自主学習ノートを活用し、児童の家庭学習の様子を把握し、個に応じた指導に生かすようにする。
- 時と場に応じたあいさつについては、いつでもどこでも「あいさつ」ができるようにするため、児童会活動、横川地域学校園あいさつ運動、企画委員会主催のあいさつ運動を利用して、あいさつの徹底を図る。また、PTAや自治会、育成会との連携方法を工夫し、情報を発信していくことで、指導の場を学校だけでなく、地域や家庭に広げていく。また、引き続き教職員自ら声をかけることで、あいさつの習慣化に努める。
- ・児童の正しい言葉づかいについては、友達や目上の人に対して正しい言葉づかいができるようにするために、国語、道徳、学級活動を中心として、教育活動全体で指導していくとともに、外部講師や地域の方などの来校者に対して、時と場に応じた言葉遣いができるよう、実際の場面での指導をしていく。また、教職員自らの言葉遣いに注意するなど、言語環境を整えるとともに、懇談会等を利用して、家庭と連携して指導できるようにしていく。
- ・地域のボランティアへの参加については、校内の掲示板や広報紙等で、地域の行事や活動について啓発していくとともに、クラスにおいても児童に積極的に声掛けをして、地域の行事やボランティアに参加した際には、それを称賛する機会を設け、啓発していく。
- ・読書については、読書週間や教師による読み聞かせの実施により、読書の楽しさを味わわせ、読書への関心を持たせるようにするとともに、学校の課題図書（チャレンジブック）に、各学級で意欲的に取り組めるよう読書指導をする。また、地域の教育力を生かし、読書ボランティアによる読み聞かせの充実を図り、その活動について、家庭や地域に発信していく。さらに、幅広い知識が身に付けられるように、様々な分野の本の拡充に努め、図書資料を授業で活用する場を多く設定し、調べ学習などの学習の幅を広げることで、児童の豊かな心の醸成を図っていくようにする。
- ・小中一貫の取組については、乗り入れ授業の情報を学年だよりで提供し、保護者が参観する姿も見られ、保護者の認識は高まってきたので、今後も、積極的に情報を発信していく。